

## GHG 排出量データ一元管理ソリューション「cocono」のサービス提供を開始

企業のカーボンニュートラル推進の基盤として、  
サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を効率的に見える化するクラウドサービス

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社(本社:東京都港区、取締役社長:中野 隆雅、以下「MDIS」)は、GHG<sup>注1</sup> 排出量データ一元管理ソリューション「cocono」(ココノ)の開発を完了し、2023年3月15日から提供開始いたします。

これに先立ち2023年1月25日から「スマート工場 EXPO」<sup>注2</sup>の一般社団法人 Edgecross コンソーシアムブースで cocono をご紹介しますので、併せてお知らせいたします。

MDIS は cocono を、可視化・レポートを行う協業先サービスと連携した統合ソリューションとして拡販し、今後5年間で累計100社以上への導入を目標とします。

注1 GHG(Greenhouse Gas): 温室効果ガス。二酸化炭素やメタンほか温室効果算定対象の総称

注2 スマート工場 EXPO: 【会期】2023年1月25日(水)~1月27日(金)、【会場】東京ビッグサイト、

【小間番号】西2ホール 62-34、【主催者サイト】<https://www.fiweek.jp/tokyo/ja-jp/about/sfe.html>

### ■サービス提供の狙い

脱炭素社会を目指す世界的潮流のなか、日本政府は2020年10月に2050年カーボンニュートラルを目指すことを宣言し、国内企業においても GHG 排出削減の動きが加速しています。取り組みの前提となる排出量算定・報告の手法としては、製品を原材料から製造・使用に至るサプライチェーン全体で捉えた国際的基準「GHG プロトコル」が主流となっており、基準に対応できる仕組みの構築が課題となっています。

この要求に応えるため MDIS は、企業が各拠点や各製品の GHG 排出量を効率的に収集・管理するための基盤として cocono を開発いたしました。

MDIS は、製造業向けシステム導入の経験を活かすとともに、生産現場の機器・ソリューションや、ZEB(エネルギー収支をゼロ以下に抑える建築物)の分野で豊富な実績をもつ三菱電機や三菱電機グループ各社とも連携し、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

### ■ユーザーメリット

#### 1. GHG プロトコル対応データを、人手を介さず収集し製品別カーボンフットプリント<sup>注3</sup>を算出

・各拠点の管理サーバー等を通じ収集した、生産ラインの稼働実績や電力、空調、照明などエネルギー消費実績をネットワーク経由で収集し、製品別カーボンフットプリントを算出。

注3 カーボンフットプリント(CFP): 二酸化炭素換算で集計した GHG 排出量

#### 2. 視覚的に理解し易い専用ダッシュボードで、迅速かつ多角的な分析を支援<sup>注4</sup>

・対象別の数値や変動などを、グラフなどで視覚的に分かり易く見せるダッシュボード表示。

注4 操作性のよい専用ダッシュボードや報告機能を特長とする株式会社ゼロボードのサービスと連携。

(2022年3月15日広報発表) [https://www.mdiss.co.jp/news/press/2022\\_0315.html](https://www.mdiss.co.jp/news/press/2022_0315.html)

#### 3. 設計情報との連携により、製品開発の上流工程から環境負荷低減策の検討が可能に(特許出願中)

・製品設計時の部品情報(E-BOM<sup>注5</sup>)との連携により、設計時点から GHG 排出量削減を考慮した検討を支援。

注5 E-BOM(Engineering-Bill Of Materials): 設計部品表

## ■将来構想

MDIS はサービス開始以降も、より高いデータ精度の確保や、作業負担の軽減を目指し、様々なシステムとのデータ連携機能を追加していきます。

## ■サービスの概要

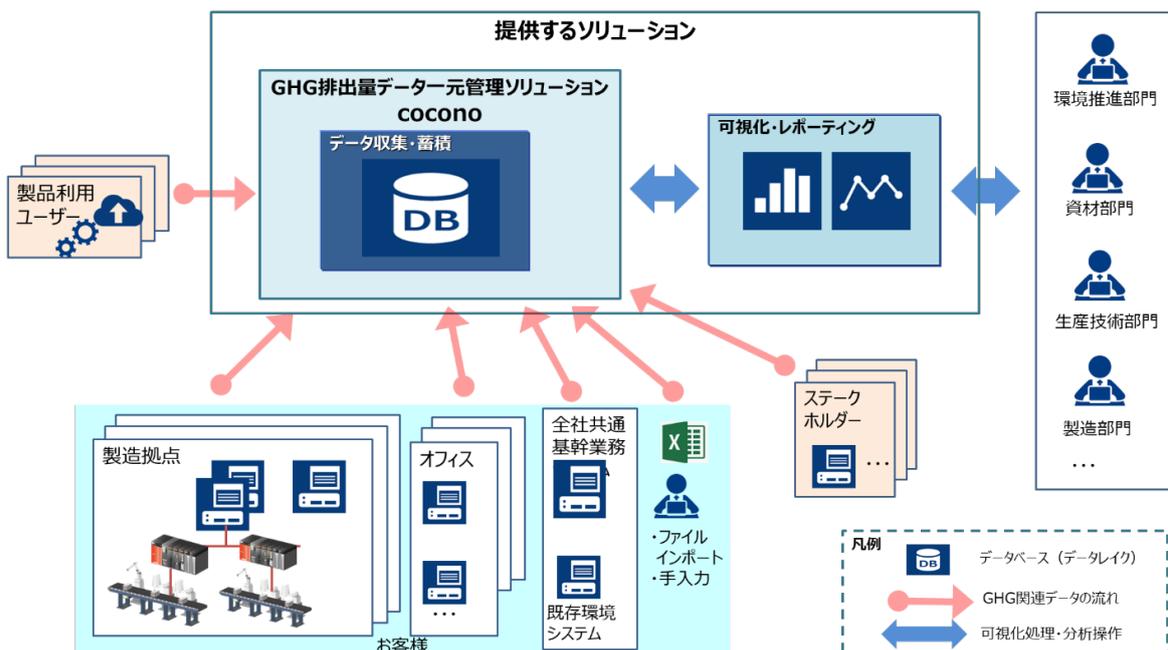
名称	主な機能	価格(税別)
GHG 排出量データ一元管理ソリューション「cocono」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○データ収集・蓄積機能</li> <li>○CFP 算定機能</li> <li>○設計段階排出量シミュレーション機能</li> <li>○データ連携機能(オプション) ・排出量算定・可視化サービス連携</li> </ul>	月額 300,000 円から(予定)

## ■サービス紹介ページ URL

<https://www.mdis.co.jp/service/cocono/> (1月24日公開予定)

## ■cocono を核とした GHG 排出量データ一元管理の全体像

※サービス連携については一部将来構想を含みます。



## ■cocono について

MDIS が得意とする各システムからデータ収集するソリューションであることをイメージし、GHG に関する幾重にも「九重(こののえ)」に広がるデータを集めるという意味と、「CO<sub>2</sub>にNo」というメッセージ性を合わせもつネーミングです。



## ■三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社(MDIS)について

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社は、金融業、製造業、流通・サービス業向けシステム事業を推進するリーディング・サービスインテグレーターとして、三菱電機グループ各社の技術力やサービスを最大限に活用した各種 IT サービス事業を展開しています。

オフィシャルウェブサイト:<https://www.mdiss.co.jp/>



MDIS ブランドロゴ

## ■商標関連

- ・cocono は、三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社から商標登録出願中の商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。